

## 令和4年度 郷土研修会の実踏報告と実施計画（案）について

## I 実踏報告

(1) 期 日 令和4年5月6日（金）午前 7時40分 けやき館集合・出発  
午後17時15分 けやき館到着・解散

- (2) 実踏場所
- ① 渋沢栄一記念館（9:15～10:20）  
アンドロイド講義（実踏日は無し・所要時間30分）  
記念館資料室（所要時間30分）
  - ② 旧渋沢邸「中の家」（10:25～10:45）
  - ③ 尾高<sup>じゅんちゆう</sup>惇忠生家（10:55～11:05）
  - ④ 縁切寺満徳寺 外から見学（11:12～11:25）
  - ⑤ 新田荘歴史資料館（11:30～12:40）
  - ⑥ 昼食場所の確認・仮予約（12:50～13:40）
  - ⑦ 聖天山の国宝・御本殿と<sup>かんぎいん</sup>歎喜院（14:05～14:55）
  - ⑧ 道の駅・はなぞの（15:47～16:15）

\* 写真は後半にまとめて掲載。

(3) 参加者 文化財保護審議会委員 3名（会長、副会長、高橋）  
事務局 3名（上出、滝澤、北爪）

(4) 交通手段 役場庁用車（運転 上出）

(5) 備考 帰りの車中で検討したものが下記の提案である。

## II 令和4年度 郷土研修会実施計画（案）

## 〈1〉コロナ対応

令和4年度の年間計画の中に郷土研修会があり、実施の予定で実踏を済ませ、本日実施計画案の提案となる。ただし、コロナの蔓延防止対応について町行政や教育委員会から指示が出た場合はそれに従う。（場合によっては、延期・中止の対応もありうる。）

## 〈2〉郷土研修会実施計画案

- 1 主 催 瑞穂町教育委員会と瑞穂町文化財保護審議会の共催
- 2 日 時 令和4年9月25日（日）8:00～18:00
- 3 目 的 関東平野の中央を流れる利根川の南岸・埼玉県深谷市、熊谷市と  
北岸・群馬県太田市の歴史・文化を研修する。

主な研修箇所は、渋沢栄一記念館（深谷市下手計）、新田荘歴史資料

館（太田市世良田町）、<sup>しょうてんさん</sup> 聖天山と<sup>かんぎいん</sup> 歎喜院（熊谷市妻沼）とする。

#### 4 行 程

- (1) 往路 **集合・出発（役場西） 8：00** → 入間IC・圏央道 → 鶴ヶ島JC → 関越道 → 嵐山PA・トイレ休憩(15分) → 本庄・児玉IC →
- (2) 渋沢栄一記念館（9：25～10：50）  
アンドロイド講義と資料室見学（9：30～10：30）
- (3) 昼食 旧渋沢邸「中の家」の隣『麵屋忠兵衛 煮ぼうとう店』（11時に予約済）  
煮ぼうとう（A 850円）& 煮ぼうとう・とろろご飯セット（B 1100円）  
申込み受付時に希望を取る。コロナ防止のため食べ終わり次第、隣の旧渋沢邸「中の家」を見学し、12：20に駐車場に集合・出発する。
- (4) 新田荘歴史資料館（12：40～13：50）
- (5) <sup>しょうてんさん</sup> 聖天山と<sup>かんぎいん</sup> 歎喜院（14：30～15：30）
- (6) 帰路 → 花園の道の駅・土産購入とトイレ（16：10～16：40）→ 花園IC → 〈必要なら 高坂PA・トイレ休憩(15分)〉 → 入間IC →  
**役場西到着・解散 18：00予定**

5 引 率 教育委員会関係者(町田館長 上出主査 滝澤 谷亀)  
文化財保護審議会委員(会長 副会長 高橋 北爪) 計8名

6 参加人数 一般参加者15名(別紙名簿参照) 引率を含めて**合計23名**  
コロナ防止のため定員の50%を募集

7 会 計 一般の**参加費 1人 3,000円**(昼食Aの人は-250円となる)  
内訳 交通費 1,540円〈バス代、高速代金等〉  
昼食 1,100円  
入館料 160円〈新田荘歴史資料館〉  
保険 50円  
雑費 150円〈写真代、切手代等〉  
審議会委員は、入館料と昼食代1,260円(昼食Aの人は-250円となる)

8 交通手段 貸し切りバス(大型1台 55人乗り ⇒ 補助いすなし45人乗り  
⇒ 50%で23人乗りとなる。ご了承ください。)

9 研修箇所解説 \* 『しおり』には、実踏の資料を加えてもっと分かりやすいものを作る。参考までに平成28年度のしおりを添付する。

##### ① 渋沢栄一記念館

渋沢栄一は、天保11年(1840)現在の埼玉県深谷市<sup>ちあらいじま</sup>血洗島の農家に生まれた。家業の畑作、藍玉の製造・販売、養蚕を手伝う一方、幼い頃から父に学問の手解きを受け、従兄弟の尾高<sup>じゅんちゅう</sup>惇忠から本格的に「論語」などを学んだ。

「尊王攘夷」思想の影響を受けた栄一や従兄たちは、高崎城乗っ取りの計画を立てたが中止し、京都へ向かう。

郷里を離れた栄一は一橋慶喜に仕えることになり、一橋家の家政の改善などに実力を発揮し、次第に認められていく。

栄一は27歳の時、徳川慶喜の実弟・後の水戸藩主・徳川昭武<sup>あきたけ</sup>に随行しパリの万国博覧会を見学するほか欧州諸国の実情を見聞し、先進諸国の社会の内情に広く通ずる。

明治維新となり欧州から帰国した栄一は、「商法会所」を静岡に設立、その後明治政府に招かれ大蔵省の一員として新しい国づくりに深く関わる。

明治6年に大蔵省を辞した後、栄一は一民間経済人として活動する。そのスタートは「第一国立銀行」の総監役（後に頭取）。栄一は第一国立銀行を拠点に、株式会社組織による企業の創設・育成に力を入れ、「日本資本主義の父」と称される。また、論語を通じた経営哲学でも広く知られている。

令和6年より新紙幣1万円札の顔となる。記念館では、渋沢栄一の遺墨や写真などの資料が展示されている。栄一は、約600の教育機関・社会公共事業の支援並びに民間外交に尽力し、多くの人々に惜しまれながら昭和6年、91歳の生涯を閉じた。

### ③ 新田荘歴史資料館

中世新田氏が活躍した史跡「新田荘遺跡」に代表される歴史資料を中心に展示されている。太田市の文化遺産の保存継承や愛護思想の普及を目的として運営されている組織で、展示は原始、古代、中世、近世、近現代の時代に分けられている。

### ④ 妻沼聖天山・<sup>かんざいん</sup>歡喜院

埼玉県熊谷市妻沼にある高野山真言宗の仏教寺院。日本三大聖天の一つとされ、一般的には山号に地名を冠した「妻沼聖天山」と呼称され、公式でも主にそのように案内される。また、「埼玉日光」（国宝に指定される前は「埼玉の小日光」）とも称されている。参拝客や地元住民からは「(妻沼の) 聖天様」などと呼ばれている。鎌倉幕府初代将軍の源頼朝が参拝したほかにも、中世には忍城主の庇護を受け、近世初頭には徳川家康によって再興された。現存する聖天堂（御本殿）は、火災により消失し、享保から宝暦年間（18世紀半ば）にかけて再建されたものである。平成24年に国宝に指定された。

10 その他 ① 「研修会のしおり」は、郷土研修会当日配付する。

② 行程は、ゆとりを持って組んであるが、行楽シーズンの日曜日なので道路渋滞が予想される。

③ 注意事項（ご協力いただきたいこと）

ア マスク着用、歩きやすい服装、履物でご参加ください。

イ 傘などの雨具もご用意ください。

ウ 当日、急に参加できなくなった場合は、事務局・上出主査まで  
連絡ください。

1 1 問合せ 瑞穂町郷土資料館 電話 042-568-0634 担当滝澤

### Ⅲ 郷土研修会を実施するに当たって事務局からのお願い

#### 1 引率者へ

- ① 当日は、審議会委員の名札を持参する。
- ② 役場の駐車場を利用したい人は、事前に上出主査に申し出る。
- ③ バスは、散らばって着座し、出発の祭は、周辺の人員点呼を心掛ける。  
見学等をする場合も散らばって行動し、参加者のニーズに応える。
- ④ 集団行動の先頭は事務局と平山会長、アンカーは塩島副会長とする。
- ⑤ 車内にて、主催者挨拶、引率者の自己紹介、事務局から研修場所の解説を行う

#### 2 事務局の仕事分担

参加者名簿作成・保険加入・参加者名札の制作（上出・谷亀）

しおり作成（滝澤・北爪） 車内研修・指示伝達（滝澤・北爪）

受付事務・会計・入場券購入（上出・谷亀） 記念写真（滝澤・谷亀）

#### 3 当日までの予定

- (1) 5月19日の文化財保護審議会で実施計画案を周知・検討し、仕事を分担する。  
\* 実施する予定で進めるが、コロナ等の緊急事態の場合は、行政（教育委員会）の指示に従う。特に広報で町民から募集を求める時期と9月25日に実施する近辺の状況に配慮する。
- (2) 8月の広報で町民に周知し、8月7日（日）10時30分より受付を開始する。  
申込み受付時に参加費を受ける。昼食のA、Bの希望を聞く。
- (3) 実施当日までに『しおり』や参加者名簿の作成、保険加入等を行う。

#### IV 実踏時の写真



○ 渋沢栄一記念館の正面

赤城山を望む栄一像 →



○ 記念館の資料展示室 ↑ と  
← アンドロイド講義



○ 旧渋沢邸「中の家」





昼食 A 煮ほうとう 850円



B ほうとう・とろろご飯セット 1100円



○ 新田荘歴史資料館 外観 ↑

資料館内部 ↓



○ 世良田諏訪下古墳群の埴輪



○ 新田義貞の足跡





○ 大型の板碑



○ 新田義貞公

○ 国宝・埼玉の日光  
 妻沼聖天さまは日本三大聖天さま  
 の一つで、縁結び、家内安全、商売  
 繁盛、魔除け開運等 御利益がある。



○ 歓喜院 ←  
 ○ はなその道の駅 ↓

